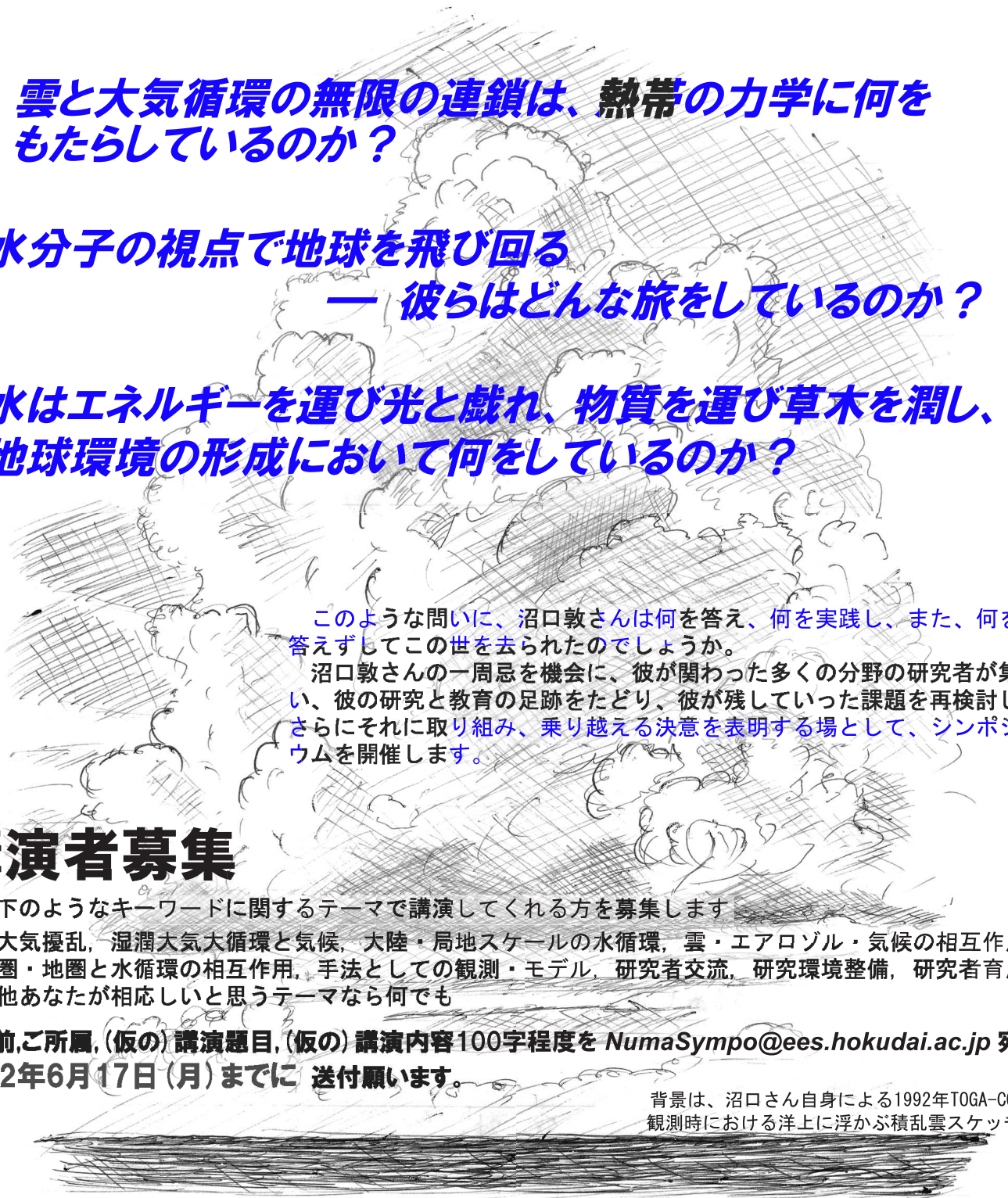
第一回　沼口敦さん記念シンポジウム

水循環力学から水循環環境科学へ

雲と大気循環の無限の連鎖は、熱帯の力学に何をもたらしているのか？

***水分子の視点で地球を飛び回る
— 彼らはどんな旅をしているのか？***

***水はエネルギーを運び光と戯れ、物質を運び草木を潤し、
地球環境の形成において何をしているのか？***



このような問いに、沼口敦さんは何を答え、何を実践し、また、何を答えずしてこの世を去られたのでしょうか。

沼口敦さんの一周忌を機会に、彼が関わった多くの分野の研究者が集い、彼の研究と教育の足跡をたどり、彼が残していった課題を再検討し、さらにそれに取り組み、乗り越える決意を表明する場として、シンポジウムを開催します。

講演者募集

以下のようなキーワードに関するテーマで講演してくれる方を募集します

湿潤大気擾乱，湿潤大気大循環と気候，大陸・局地スケールの水循環，雲・エアロゾル・気候の相互作用，生物圏・地圏と水循環の相互作用，手法としての観測・モデル，研究者交流，研究環境整備，研究者育成，その他あなたが相応しいと思うテーマなら何でも

お名前,ご所属,(仮の)講演題目,(仮の)講演内容100字程度を *NumaSympo@ees.hokudai.ac.jp* 宛に 2002年6月17日(月)までに 送付願います。

背景は、沼口さん自身による1992年TOGA-COARE観測時における洋上に浮かぶ積乱雲スケッチ

開催日/ 平成 14 年　7月29日(月), 30日(火)

会　場/ 東京大学駒場リサーチキャンパス先端研新4号館講堂

(詳細は下記URLをご参考ください http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/Info/Numa2002)

主催 / 沼口敦さん記念シンポジウム実行委員会

後援 / 東京大学気候システム研究センター